

食品ロスにまつわる「きほんのき」

食品ロスとは、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食べもののことを言います。
はじめに食品ロスの発生源や、日々捨てられている食品ロスの量を見ていきましょう。

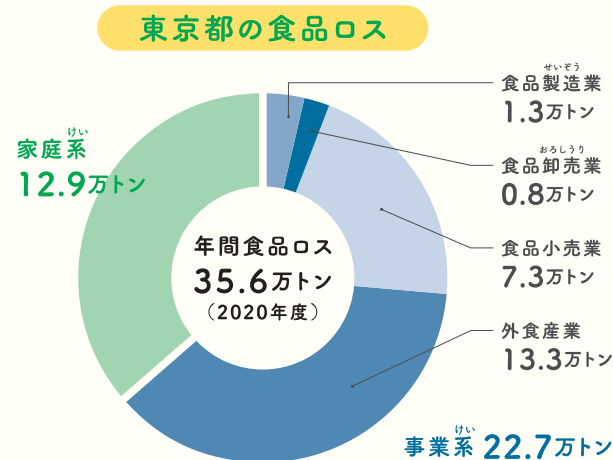
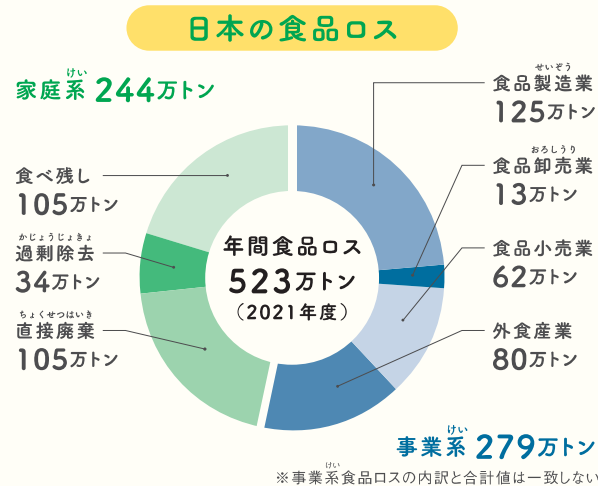
そもそも「食品ロス」はどこから発生する？

家庭や飲食店で発生する食品ロスのほかに、生産者から私たち消費者に食品が届くまでの過程でも生じています。



数字で見る食品ロス

日本の食品ロスの年間総量は、なんと約523万トン！ そのうち各家庭から発生する「家庭系」食品ロスが約244万トン、食品を作る製造業、スーパーやレストランなどから発生する「事業系」の食品ロスが約279万トンあります。



「家庭系」の食品ロスは全国で約5割、都内では約4割を占めます。食べ残しや食べる前に捨てられてしまうのが大きな要因です。「事業系」では、都内は全国と比べて外食産業からの食品ロスの割合が多く、「事業系」の食品ロスの半数以上を占めています。

知っていますか？
国民一人あたり、毎日おにぎり一個分の114gが捨てられています。